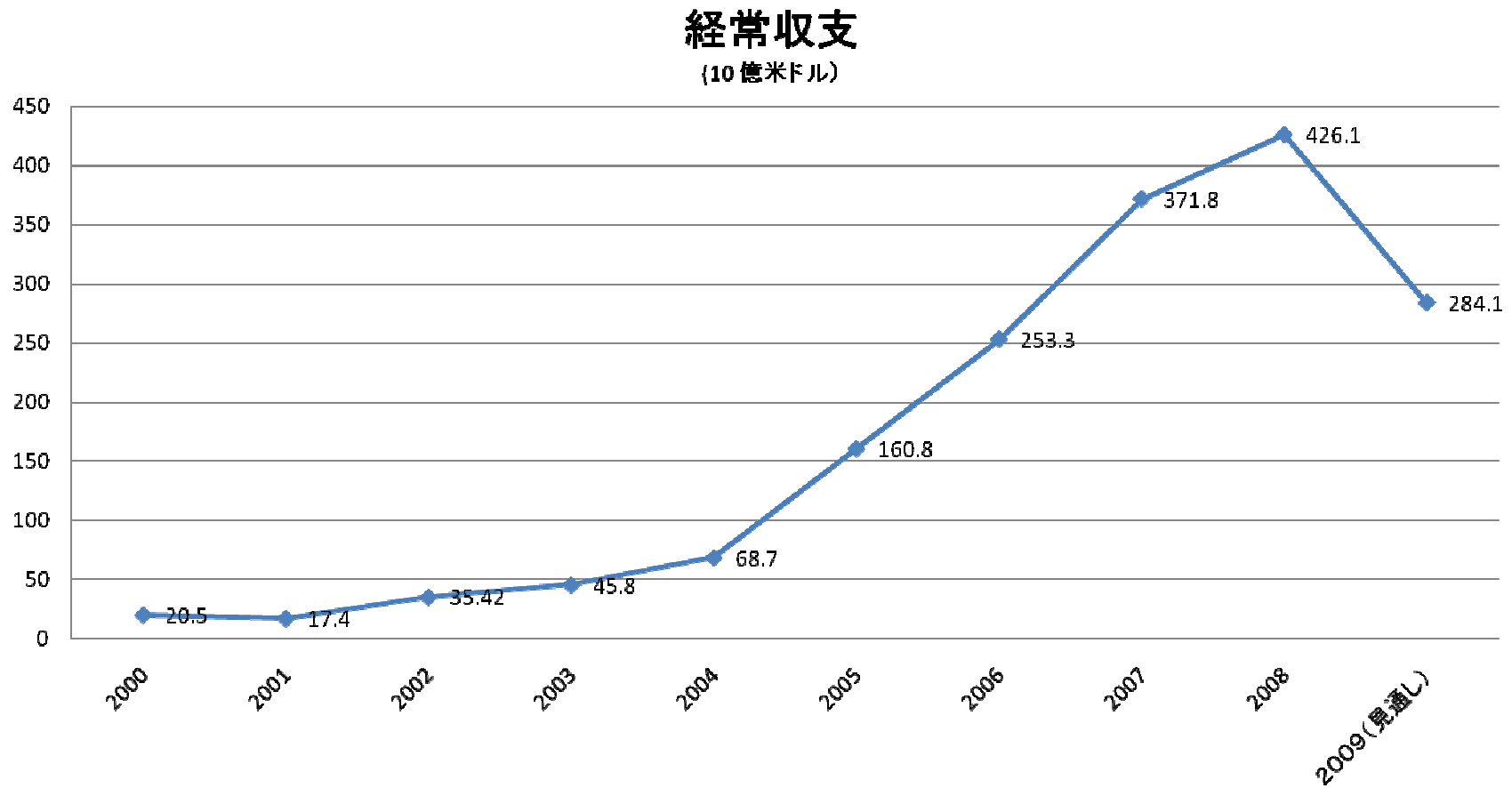


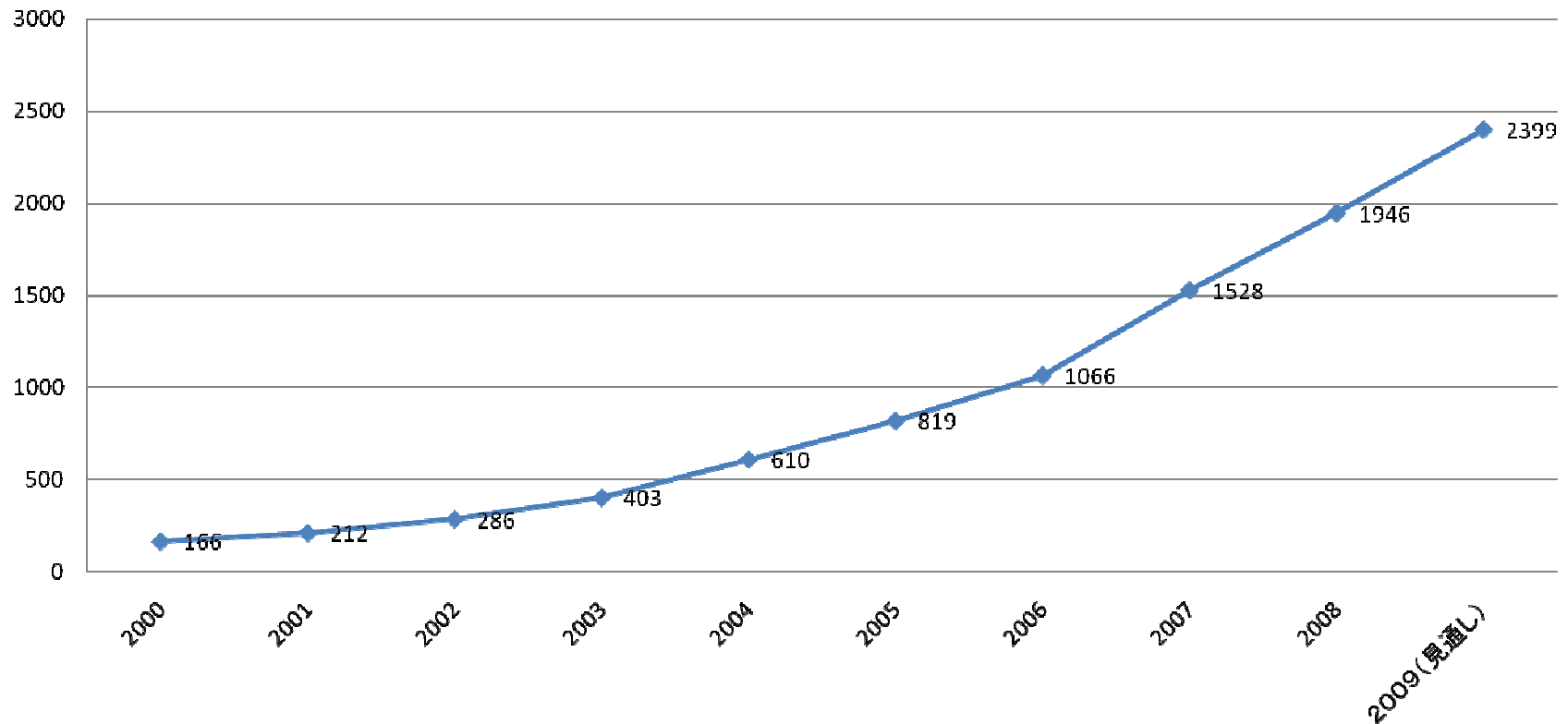
中国経済の振り返り

2004年度以降急増していた経常収支は、2009年度大きく減少に転じた



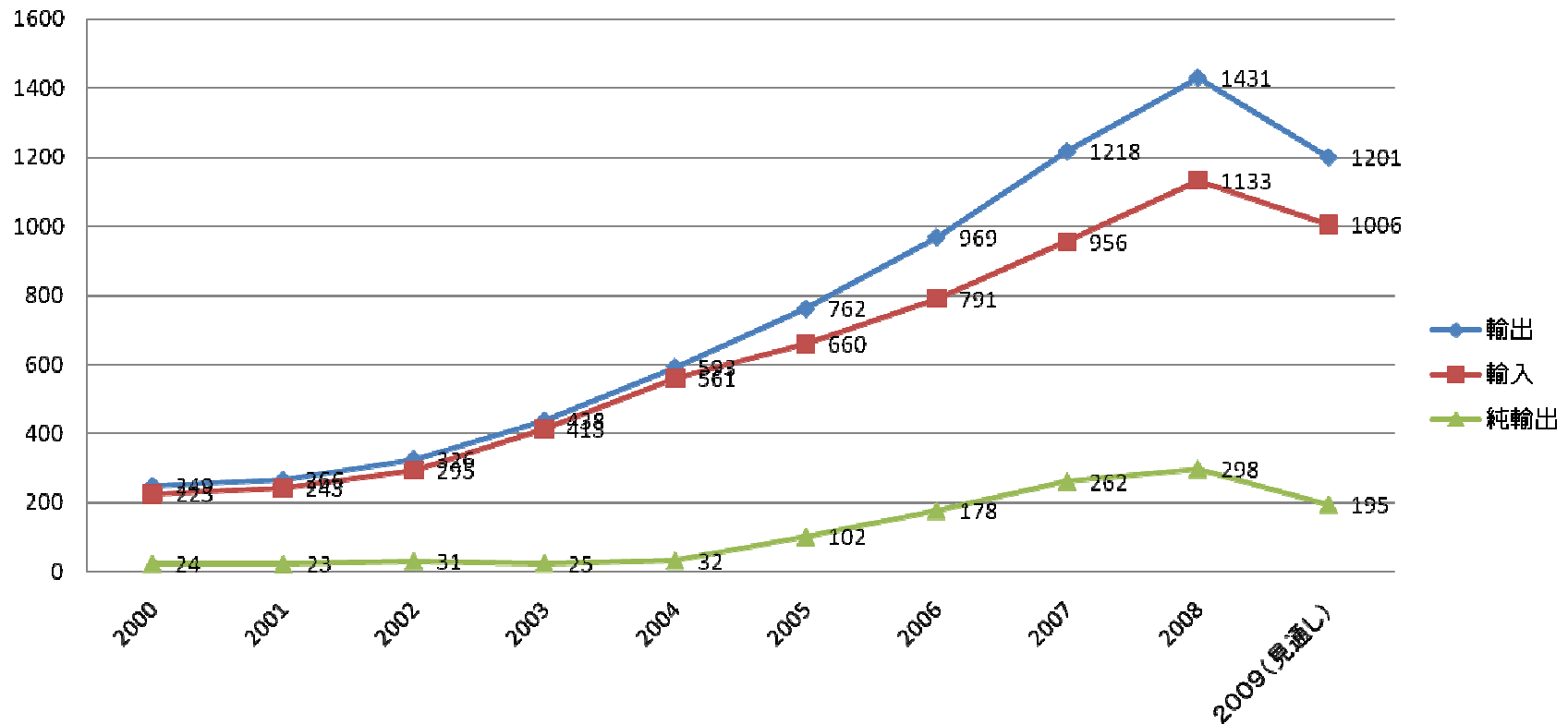
貿易収支・経常収支の黒字により、外貨準備高は順調に積み上がってきた。

外貨準備高
(10億米ドル)



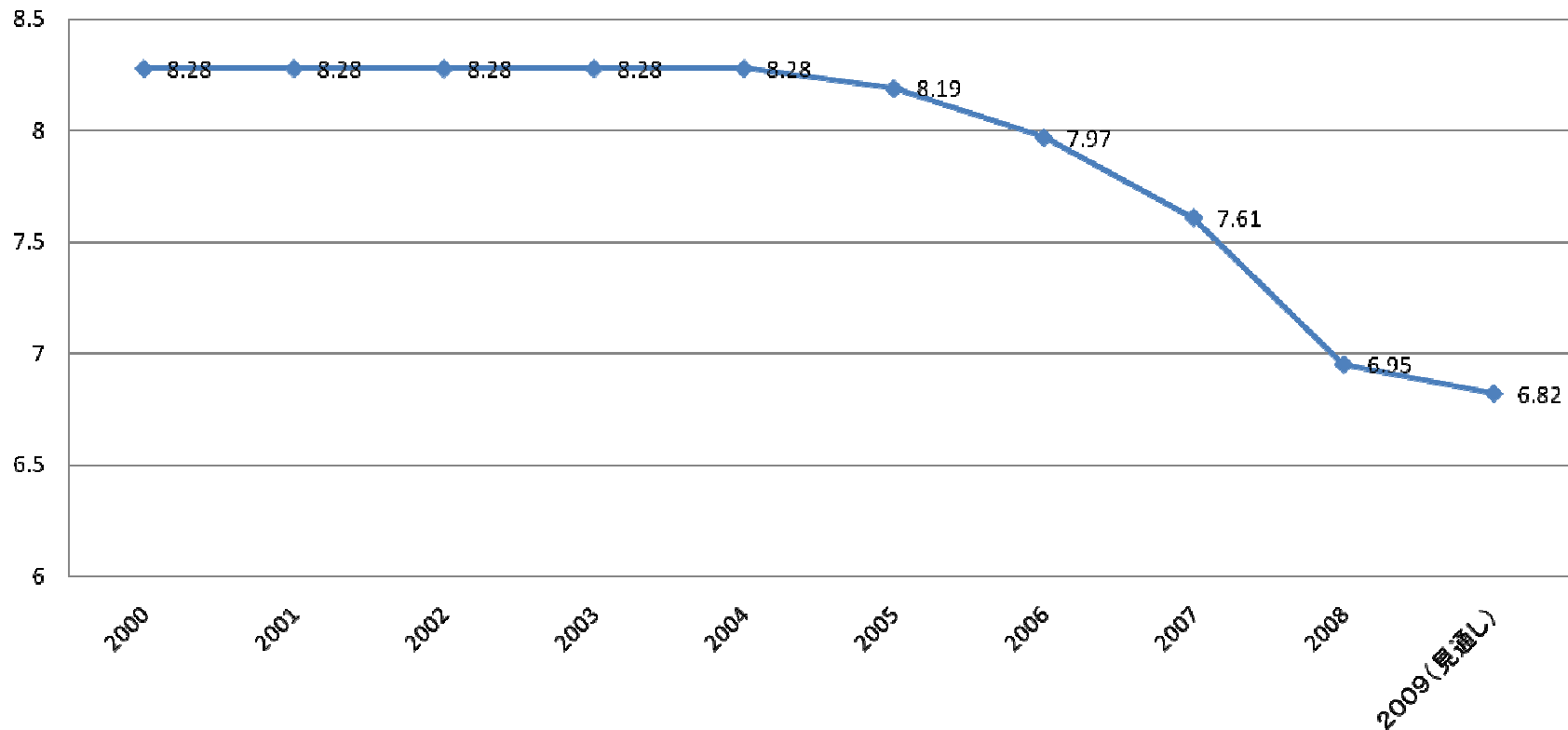
順調に増加してきた純輸出(貿易黒字)も2009年度には大きく減少に転じた。

貿易収支の推移
(10億米ドル)



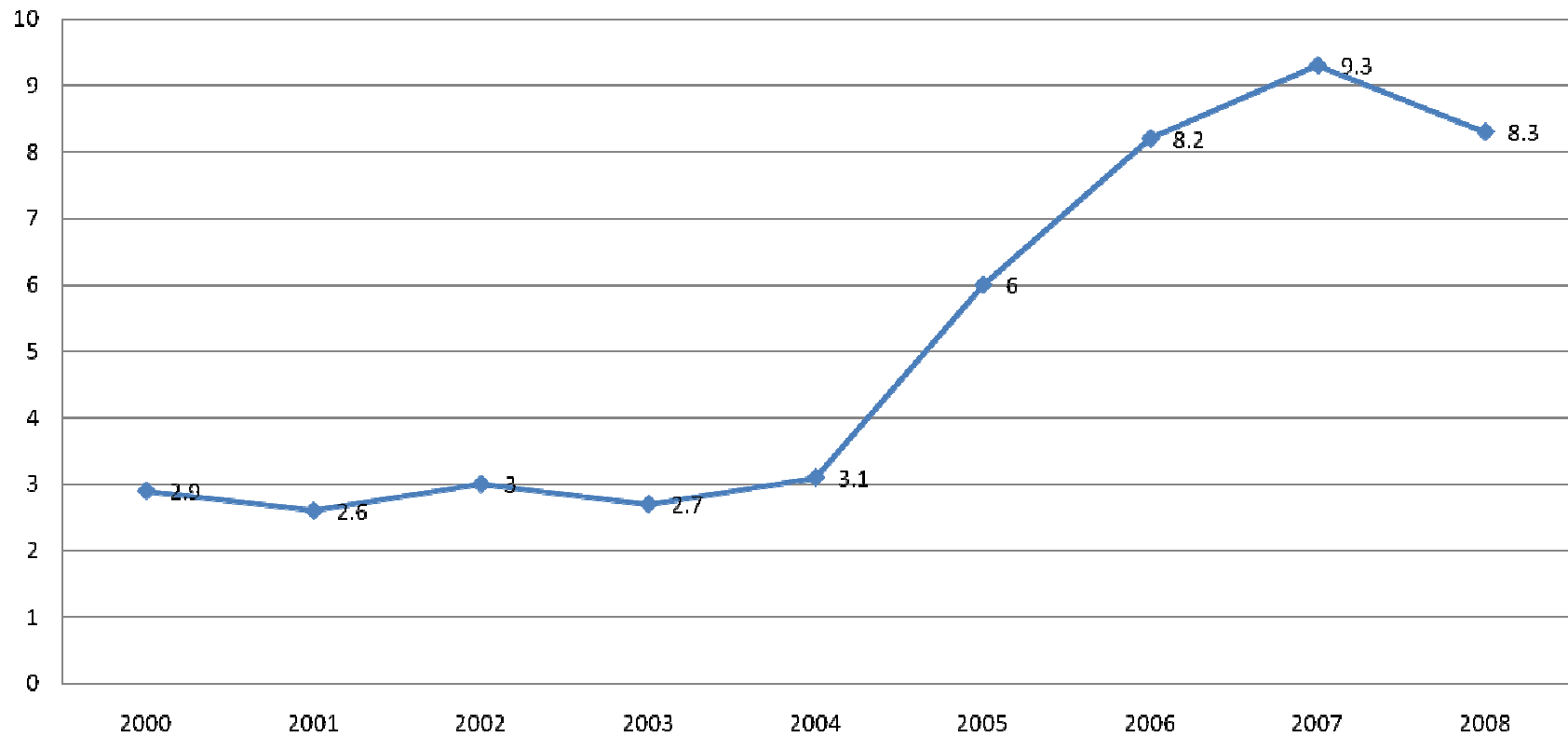
人民元の対米ドルは、2005年に変動相場制に移行して以来徐々に切り上げられたが、2008年以降は実質的に6.83近辺で固定。

期中平均為替レート
(対米ドル)



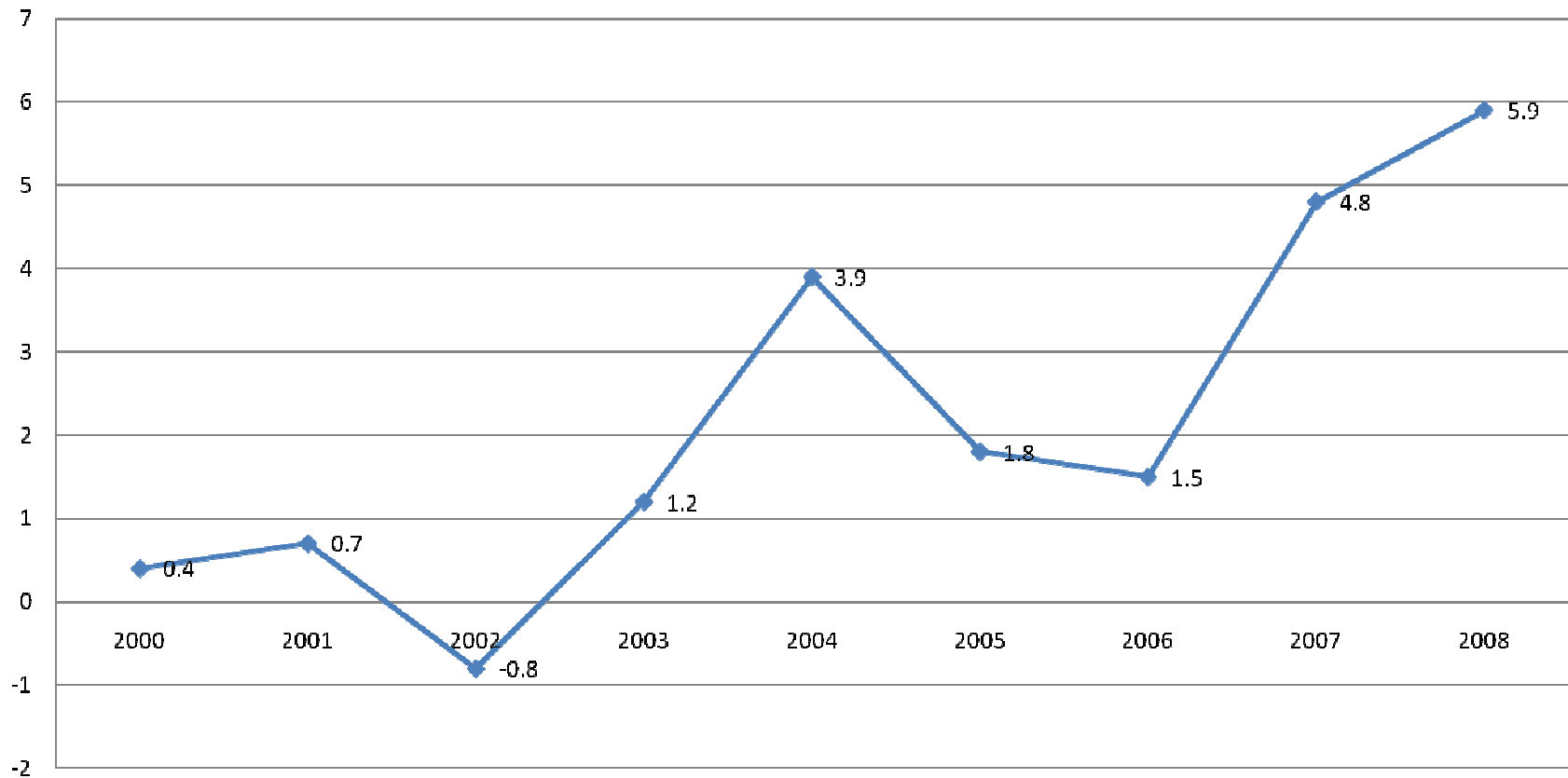
2005年度以降、貿易収支の対GDP比率は急速に上昇し、GDP成長に寄与。

貿易収支／GDP比率
(%)



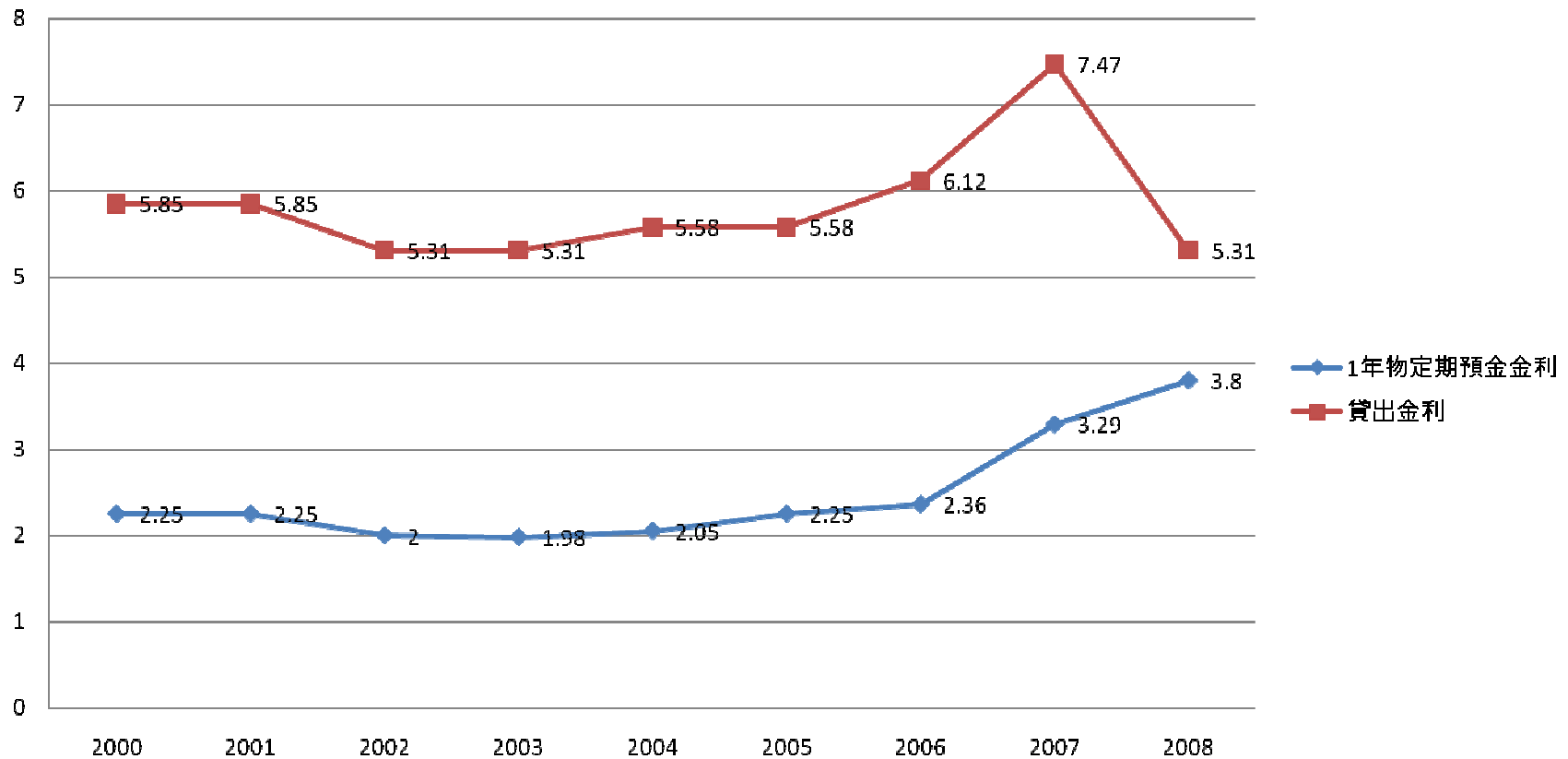
好調な景気拡大を受け、CPIは2007年以降急速に上昇し、国内にインフレ懸念が高まっている。

CPI推移-%



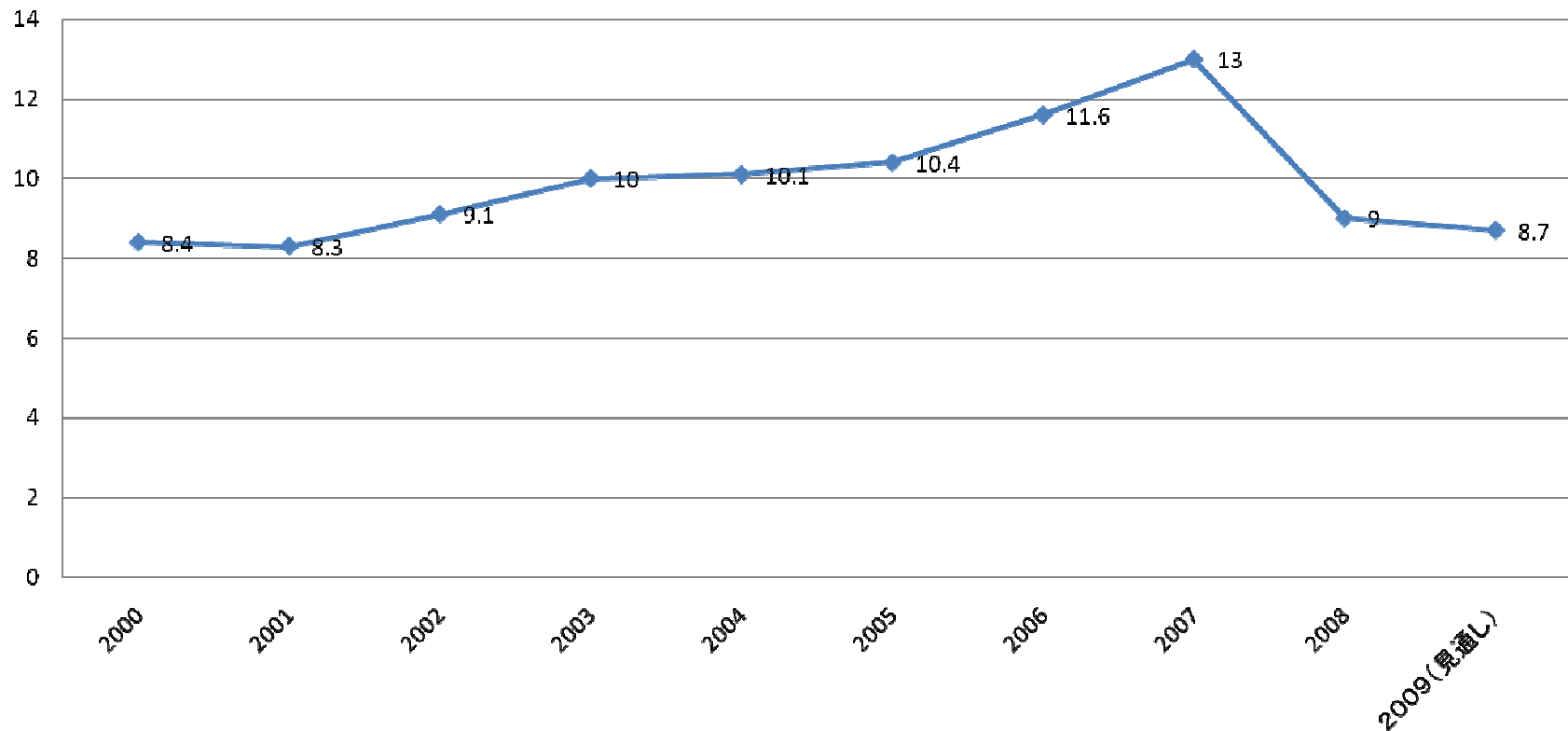
2007年以降、預金金利は上昇する一方、貸出金利はリーマンショック後の景気刺激策を受け、低下傾向。インフレ懸念が高まっている。

貸付・預金金利推移-%

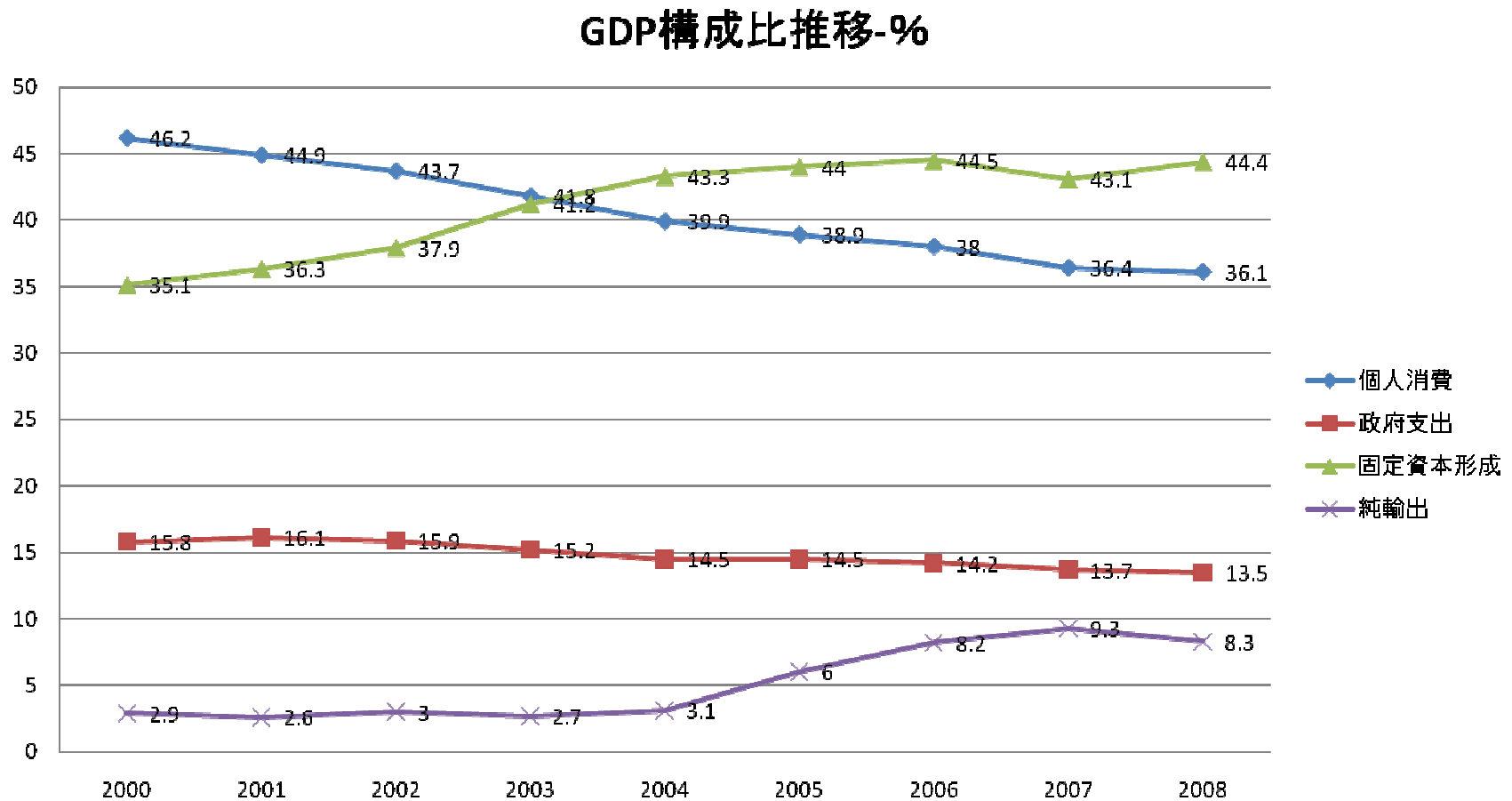


景気減速が懸念された2009年度も公共投資を中心とした景気刺激策や堅調な輸出に支えられ、GDPは8.7%の伸びを達成。

GDP伸率推移
(%)

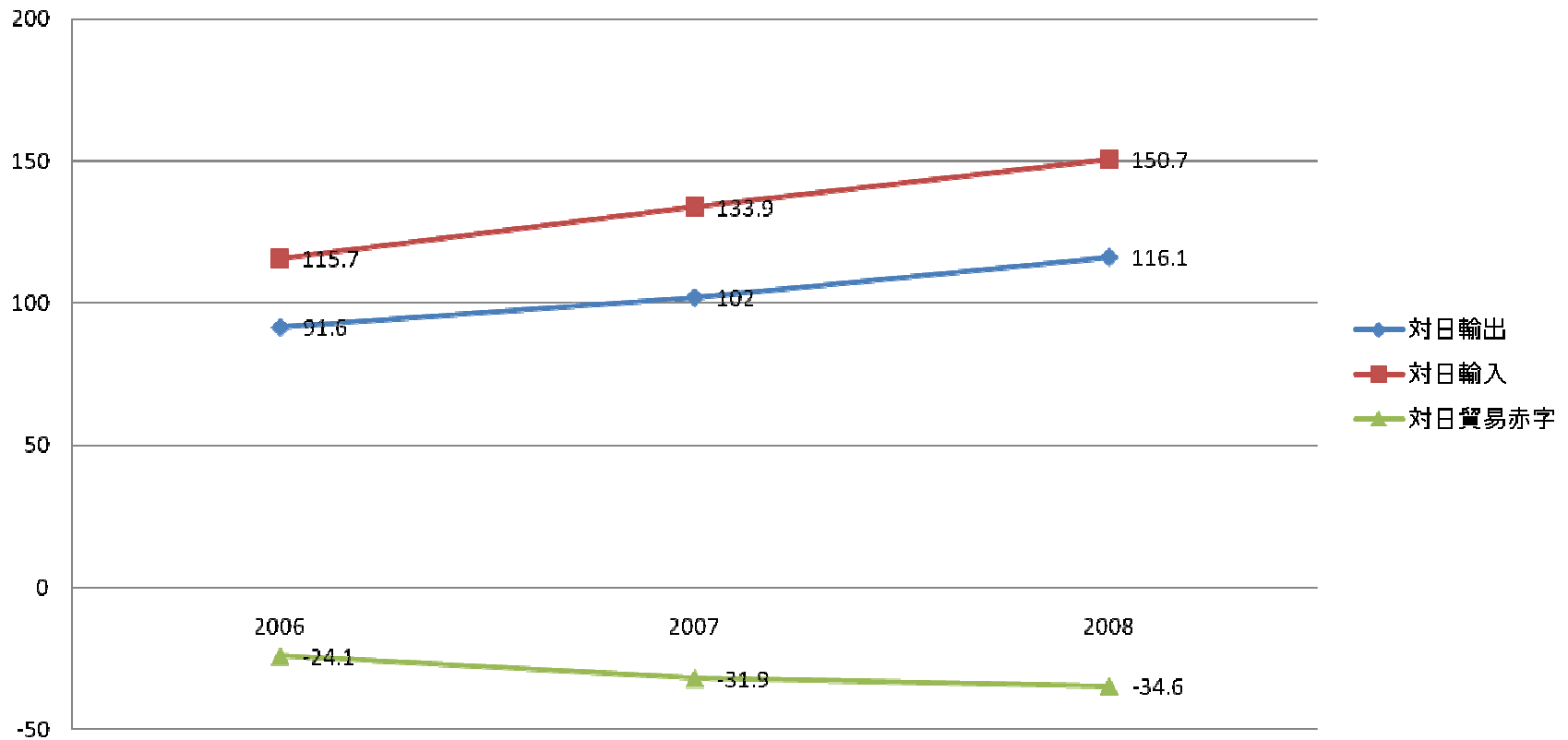


ここ数年のGDP成長においては、固定資本形成 (設備投資・公共投資)・貿易収支が貢献



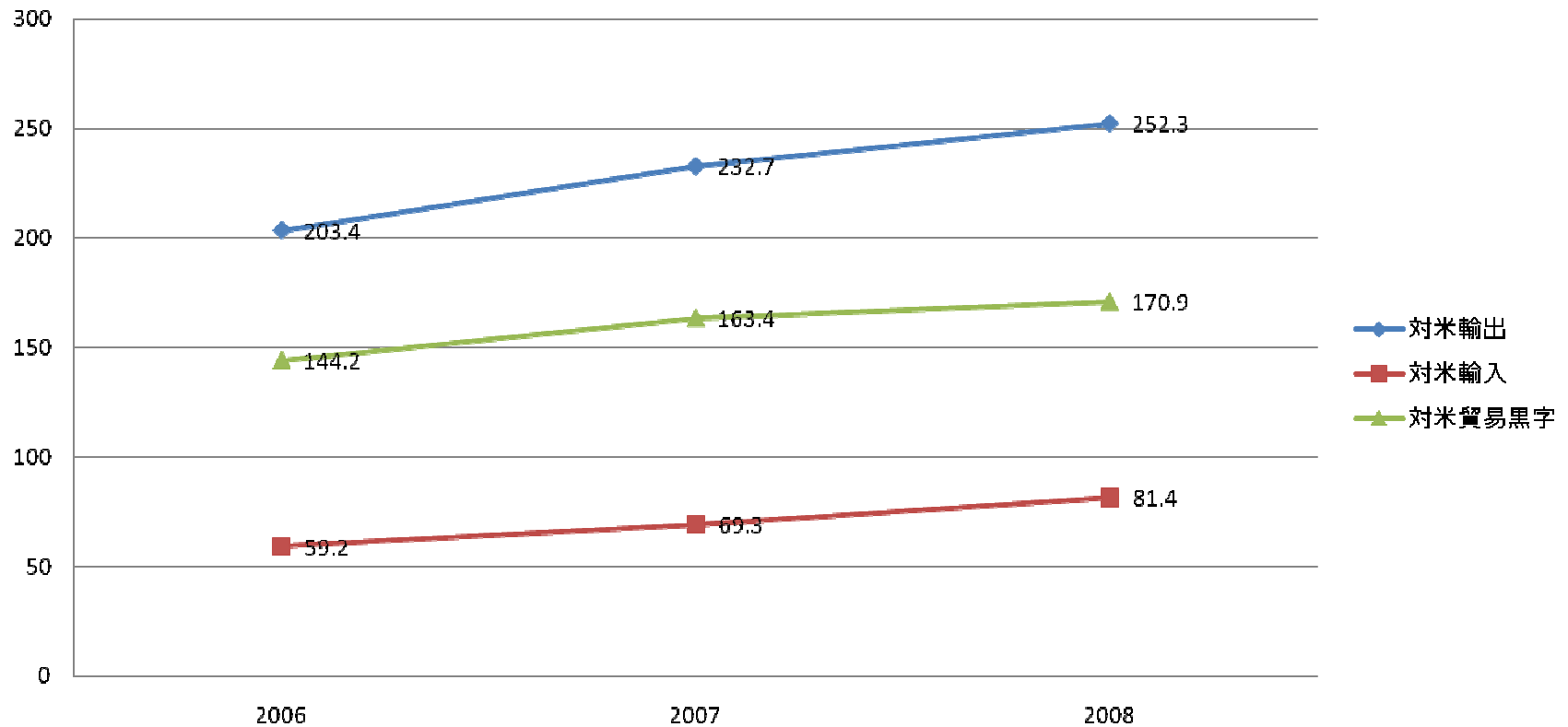
対日貿易収支は、赤字基調が継続

対日貿易収支の推移
(10億米ドル)



対米貿易収支は黒字幅が拡大しており、両国間の貿易摩擦が激化している。

対米貿易収支推移
(10億米ドル)



対EU貿易黒字幅は拡大傾向にあり、貿易摩擦が激化している。

対EU貿易収支推移
(10億米ドル)

